

## 第1回新潟市北区外国籍市民懇談会 概要

日 時：平成25年11月27日（水） 午後6時30分～8時30分

場 所：豊栄地区公民館 1階 視聴覚室

出席委員：7名

長谷川 実（コーディネーター）、アドゥアヨム アヘゴ アクエテビ（公募委員）、  
窪田 ベアトリスカズコ（公募委員）、ダラコティ アンジャイ（公募委員）、  
樋渡 里佳（公募委員）、マリア テレンタ ハセラ ノガワ（公募委員）  
レ ホアン（公募委員）

事務局：夏目国際課長、宮島係長、遠山主査、畑副主査

傍聴者：5名

### 意見の概要

#### 1) 外国籍区民の仕事と生活について

- ・ 日本語はできても、外国人と言った途端にやんわりと断られる。社員募集の応募要件には書いていないが、実際は外国人不可の会社が多い。
- ・ 英語の仕事などではもっと在住外国人を活用すべき。
- ・ 仕事で外国人として求められる役割と自分のやりたいこととのミスマッチがある。例えば英語が堪能ということで海外部署に配置されるが、働き手としては大学で学んだ専門分野を生かせない、必ずしも関係ない、など。
- ・ 日本では大学院等を卒業後に就職活動を始めたら就職は難しいことが問題。例えば、東京では修士課程を英語のみで卒業できる大学も多くある。その場合卒業者は日本語の勉強が完成していない、卒業後日本語を勉強してから就職活動をしてでも就職が大変難しい。
- ・ 病院に通訳を置いてほしい。
- ・ 道路標識を日本語、英語、中国語の併記にすべき。
- ・ 市の窓口については、外国語表示をしてもらいたい。
- ・ 留学ビザから就労ビザへの切り替えでとても苦労した。ビザの変更や国籍変更など法律・制度について相談できる人がいるとよい。

#### 2) 地域コミュニティと外国籍区民との関わりについて

- ・ 外国人と日本人が交流する機会が増えるとお互いをよく知ることができる。コミュニティと接するきっかけなどをつくるサポートをしてもらいたい。
- ・ お祭りや交流イベントを紹介してほしい。
- ・ 引っ越した当初から、地域のイベントには全て参加した。最初は日本人は冷たいと思ったが、教えてほしいというとなんでも教えてくれ、親切。
- ・ 昔はよく自治会の行事などにも参加していたが、どうしても地域の人と誤解があり、相手とぶつからないためにあえて地域との関わりを避けるようになった。

●出された課題を整理し、第2回懇談会（1月下旬か2月初旬開催予定）では、市から具体的な例、提案を示すことになった。